

二十歳が見た市川市の今 市川市ってどんなまち

私たちの暮らす市川市。普段は何気なく生活しているこのまちをどんなまちと感じていますか。今の市川市について今年、成人式を迎えるみなさんに聞いてみました。

1月に行われる成人式の実行委員のみなさん
☎712-8632 広報広聴課

交通が便利

住んでいる行徳エリアからは電車ですぐに都心に出ることが出来ます。都心に近いけれどお祭りも盛んで、便利さと人の温もりの両方があるまちだと感じています。



本塩在住 清水さん
▲1月に行われる成人式の実行委員のみなさん

多くの施設

自分の住んでいる大和田地区は商業施設や公共施設が充実していて、とても住みやすいです。市外にも出かけやすいので、多くの人とつながりが増やせるまちだと思います。



大和田在住 近藤さん

生活しやすい

大学で司書教諭の勉強をしています。教授から、市川市は、学校と図書館が連携して授業で使う本の貸し借りができるシステムを持っていて、先進的だと教わりました。改めて思われた環境にあると思います。



南八幡在住 小安さん

近代的

歴史

若宮地区に住んでおり、小さいころから近くの法華経寺が遊びや学びの身近な場所でした。また、市内の各所に古い建物や通りが残っていて、貝塚も多く、歴史を感じるまちだと思います。



若宮在住 田中さん

多様なまち並み

「町」という字は古き良きイメージ、「街」は近代的なイメージをイメージします。市川市は近代化された都会的なまち並みと、古くからの歴史あるまち並みが程良く混ざりあい、うまく調和していると思います。



塩焼在住 阪口さん

文化

自然

私は星を見るのが好きなのですが、自宅から意外と星がよく見えます。都内に通学していますが、都心ではなかなか見ませんが、それに、自然も残っていて居心地が良いです。改めて、市川の良さを感じています。



曾谷在住 細川さん

環境

大町にある自然観察園は、市川市にもっとあったが津の自然を残すために整備した場所だと聞きました。都市化が進む中で、多くの動植物が生きている環境が残されてきたことを、ありがたいと思います。



南八幡在住 椎名さん

市川市の基本データ

昭和9年、千葉県内では3番目の市政施行。人口484,692人(平成29年11月30日現在)。市制施行からおおむね増加を続けています。
面積は56.39平方キロメートル。市制施行当初は22.95平方キロメートルでしたが、合併や埋め立てにより約2.4倍となりました。

都心に近い立地 鉄道網も充実
どこに行くにも便利。生活しやすいまち

都心から10〜20キロメートル圏内に位置し、利便性の高い住宅都市として発展してきました。市内には7路線16駅と、都心部と県内各地域を接続する良好な鉄道交通網が集中しています。平成22年国勢調査の結果によると、11万人以上の人が都内へ通勤・通学しています。

昼間人口	387,101人
夜間人口	473,919人

(平成22年10月1日現在)

都内への流出が多く、昼間人口は少なくなっています。



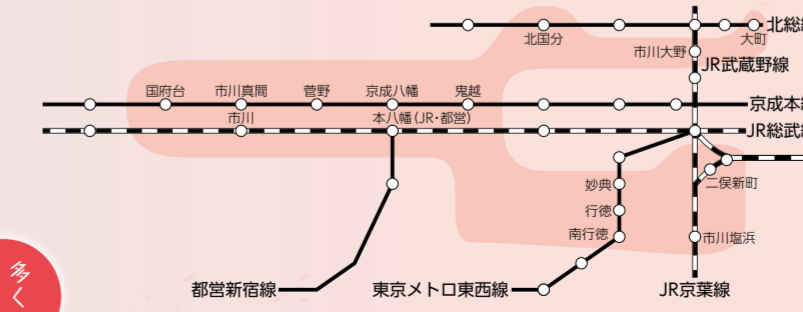
▲発展、成熟した住宅都市



▲東京外かく環状道路が開通予定の高谷JCT ▲乗客数1日平均約5万9千人(平成28年度)のJR本八幡駅



▲約80万冊の蔵書がある中央図書館



▲多くの施設

近代的

歴史あるまち並みと150メートルからの眺め
歴史と近代が共存するまち

堀之内、曾谷、姥山の貝塚などの縄文の遺跡や、万葉集に詠まれた真間の手原奈伝説などが、古来より人が住み栄えてきた地域であることを物語っています。今日でも多くの寺社仏閣や、行徳の旧街道などの歴史あるまち並みと、再開発や区画整理による近代的なまち並みが共存しています。



▲地上150メートルからの眺望が楽しめるアイリンクタウン展望施設



▲日蓮宗大本山である法華経寺の参道



▲行徳の常夜灯

歴史

文化

自然が残って居心地が良い
都市の中に残る緑と水辺
都心近くにありながら、悠然と流れる江戸川の河川敷緑地、大町にある自然観察園、南部の行徳近郊緑地など、水辺と緑地の織りなす美しく多様な自然に恵まれています。また、京成線周辺には市の木であるクワマツも多く、本市固有の景観になっています。



▲じゆん菜池緑地の桜



▲悠然と流れる江戸川



▲谷津を保全する自然観察園



▲北部に広がる梨畑



▲西洋風の東山魁夷記念館